

資料2 利活用のアイデア一覧

■ 佐久東小学校

No	事業カテゴリー	名称	狙い／目的	○事業内容／骨子 ●発展的／付加的要素
1	2【産業】事業誘致、起業支援	データセンター		○災害の少ない土地では有用。 ○NTTなどに持ちかけてはどうか。
2		電話のコールセンター		○通信販売の会社はコールセンターを増やしています。 ○回線の混まない田舎は需要があると考えられる。
3	3【産業】観光、アウトドア、情報発信	自然体験等交流施設		○宿泊施設に改装し、自然・四季・農村等の体験学習施設。 ○町の小中学生はもとより、全国各地から利用者を募る。
4		林間学校(特別学校)		○山々に囲まれ、自然恵まれない地域、東京など都会にある学校に注目されるのでは。 ○破損も少なく、プラネタリウム等ほかの施設も充実。さらに手を加えれば利用価値がある。 ○公共施設になれば資金も心配なし。R299、県道佐久下仁田線から関東に抜ける道路開発に期待。
5		県外移住促進多目的事業基地	◇移住用クラインガルテン 建売販売、移住体験施設、並びに起業促進ファーム、県外の子供対象田舎の学校等。	○グラウンドや不要なプールは解体し、県外からの移住者用クラインガルテンとして格安に建売販売し、 ○体育館はイベントや地元町民他の緊急避難場所として活用し、 ○校舎は小規模起業促進用施設として、又、県外からの移住体験施設として、 ○又、県外の子供たちの夏季学校としての田舎の学校・森の学校などとしても活用したい。
6		寺子屋		○仏教から何が学べるかをテーマとする。 ○龍興寺を中心として町内のお寺の協力を得る。 ○宿泊可能にして禅教室等を設ける。 ○はとバスと提携して都内から誘客を目指す。

7	3【産業】観光、アウトドア、情報発信	<p>佐久穂「里山迎賓館」の開設</p> <p>◇都市・農村交流施設を基本機能とし、交流促進施設と宿泊施設として利用する。</p> <p>◇自然豊かな大日向地区の特性を活かし、府中市や都市部の児童生徒の体験教室や林間学校と共に、遊休農耕地利用の週末滞在型農業体験基地とする。</p> <p>◇佐久穂町の歴史や文化の展示施設や交流施設を設置し、滞在や移住を促進する。</p>	<p>○施設は町、又は町の第3セクター（産業振興公社）の所有とし直営とする。</p> <p>○第3セクターは、町が51%の出資とし、残りを町民、町内企業を中心に出資を募り設立する。</p> <p>○東小の1Fを交流施設、歴史・文化展示施設として使用する。2、3Fは会議室、宿泊施設とする。</p> <p>○農業体験のサポート体制を大日向地区住民をはじめ、JA等とも連携し遊休農耕地利用を促進し、都市部の団塊世代以降の市民の移住を促進する。</p> <p>○東小は木造校舎で暦年も新しく居住空間としても魅力ある施設で大事にしたい。林間学校（体験教室）や都市交流の宿泊施設としての利用。</p> <p>○グランドにテニスコートの設置等林間学校の機能を拡充する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●遊休農耕地利用のサポート体制を整備確立し（空家・居住場所を含む）、移住者流入を促進。 ●都市部児童生徒の林間学校、農業体験を進める事により、観光資源整備、特産品開発を含む雇用機会創出に繋げる。 ●大日向地域のハイキングコースや里山、観光資源の整備にも繋がり、地域活性化が促進される。
8	佐久穂ガルテン	<p>◇年金世代の誘客。</p> <p>◇体験型農業、寒冷地型農業の可能性、体験など。</p>	<p>○県外からの移住促進に住農を組み合わせた環境を整備する。</p> <p>○周辺の広い農地を活用した就農体験。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●旧八千穂村は農村医療の先進地として他との差別化を図れるだけのブランド力を内包している。 ●県外からの移住促進に利用する手段として医療と休暇村を兼ね合わせようとしたクラインガルテンとして利用を促進する。

9	3【産業】観光、アウトドア、情報発信	大日向ナチュラリストハウス(団体、グループ向けの低額合宿施設)	<p>◇高校や大学、一般の各種グループによる合宿、小中学校の林間学校の誘致、及びエコツーリズム企画等、着地型観光の事業展開による大日向地域に対する人の入り、交流を狙う。</p>	<p>○大日向の地域特性に根差し、鉱物、植物、天文等の活動に関する設備、備品、器具、資料、情報を充実。高校や大学、一般の自然研究・愛好者グループの合宿や活動に便利で低額利用できる施設として特化する。施設の整備、維持管理は町が担当。運営は「緑の会」、「こぶたろうの会」、「地学同好会」、「大日向地区」等に指定管理者として委託。宿泊料収入等から直接費用を除いた利益は、町/グループ/地区が分け合う仕組みを構築。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●エコツアー企画実施(里山体験、農作業、鉱物植物観察他)。 ●町の文化財のうち、鉱石、植物、生物、化石等の関連文化資料の保管展示。 ●満州開拓団の歴史資料展示。 ●鉱物、植物に関する学会等のイベント誘致。 ●統合小中学校の課外学習。
10		佐久穂レプリカ美術館	<p>①町のPR拠点(情報発信)及び町民の文化交流の拠点を構築する。</p> <p>②周辺地域及び広域圏(国内外)からの集客(観光客)を増加させる。</p> <p>③地場産業の再生・振興・活性化を図り、産業を振興させる。</p> <p>④新たな雇用を創出し、若者のIターン・Uターン及び定住化を促す。</p> <p>⑤町民の参画・交流により、町及び町民の活力の蘇生を図る。</p>	<p>○廃校施設を世界の美術品が鑑賞できるレプリカ美術館へとリニューアルし、農産物の加工所や販売所、カフェ、レストランなどを備えた集客拠点、情報発信拠点、地域活性化拠点として改装する(校舎外観は維持したまま改裝、内装を変更する)。</p> <p>世界の美術館・博物館が所蔵する美術品の原寸大のレプリカを主に展示する「佐久穂町レプリカ美術館」を開館する(区画によって展示スペースを分け、佐久穂町民・園児・児童・学生の美術品も展示)ことによって、来館する周辺地域や広域圏からの顧客に対して、鑑賞後(鑑賞中も含む)に佐久穂町内の特産品販売、加工品販売、美術館関連グッズ販売、地元食材を使用したレストランでの飲食、等々を販売・提供する。</p> <p>更には、定期的に様々なイベントや催事(絵画教室、ミニコンサート、講演会、等々)を実施することにより地域住民同士の交流や観光客との交流を深め、廃校施設を交流と広報と販促の”場”と位置づける。</p> <p>「佐久穂町レプリカ美術館」の収入源は入場料収入の他に、地元の方々とのコラボレーションによる物販・サービス収入、イベント・催事収入、スペース貸し収入、等々が考えられる。</p> <p>一連の事業により佐久穂町のPR(情報発信)と共に、地場産業の再生・振興・活性化が図られ、同時に新たな雇用が創出され、若者のIターン・Uターン及び定住化が促される。</p>

11	7【保健】高齢者、障がい者福祉	児童養護施設、小規模グループケア	◇障がい者等の施設。	○虚弱児、障がい児等が泊りから学校教育までできる児童養護施設。 ○大勢の集団生活では落ち着かずパニックを起こすことが多くても、少人数だと落ち着いた生活ができる。 ○台所・浴室・居間を設け、1ユニット6~8人の少人数で生活する。 ○厚生労働省でも現在の650箇所から2014年には800箇所に増やす計画。 ○虐待を受ける児童が増加していることを背景に、こういった施設の増加が望まれている。
12	7【都市】公園、広場、防災	災害備品の備蓄庫等	◇災害時の備品等保管施設、仮設住宅用地。	○災害時の備品等を保管する施設として利用。 ○災害時の仮設住宅等としても利用。
13	他【都市】公営住宅、宅地	移住促進事業		○学校校舎をそのまま使用し、第三セクターが活用。 ○県外からの移住者のニーズに環境が適している。

■ 佐久中央小学校

No	事業カテゴリー	名称	狙い／目的	○事業内容／骨子 ●発展的／付加的要素
14	2【産業】事業誘致、起業支援	町内商工農業チャレンジ施設	◇商工農業に活力を。 ◇町の文化・歴史を展示し郷土のよさを学べる交流施設。	○児童を迎えてきた親がそこで地元物品を買う施設。 ○海瀬駅徒歩5分にあり、小海線を利用する観光者、他町村民も利用できる。
15		原発被災移住者用就業施設(林産物加工工場)	◇原発被災者の移住に伴う職場提供。 ◇林産物加工工場、住宅基盤強化用パイ爾製造施工事業、ストーブ用ペレット加工工場、家畜飼料用加工工場等。	○原発被災者の移住に伴う職場提供の一環として、地元林産材(唐松)を活用して建築露盤補強用杭として加工し施工まで行う事業展開したい。 又、直径40センチ以上の物は、横にカットしインターロッキングに加工し施工販売を手掛けるとともに、端材はストーブ用ペレットに加工し、県の協力体制の元、ストーブの普及にも努めながら販売促進に努める。細い材料や端材を、家畜用飼料に加工し新たな唐松の需要に繋げて地域活性化にも貢献できる事業に展開したい。

16	4【保健】保育、学童保育、校外の学び	学童クラブ、児童館、進学塾・学習塾	<ul style="list-style-type: none"> ◇放課後児童の居場所。 ◇これからの世界に通用する人材の育成。 	<ul style="list-style-type: none"> ○統合小中学校に最も近い所。 ○新小中学校に近く子供たちを安心して預けることができる。 ○住民等も集える処として提供利用(宅老所等も一緒に設置など)。 ○学習、音楽、ダンス、情報、技術、ものづくりの場(塾)を提供し、得意分野を育成の場。 ○統合小中学校、駅の近くに位置するので、学童クラブ、学習塾、進学塾、ピアノ、習字教室等の習い事の教室、漫画・インターネットカフェ(茂来館の図書館とは差別化する)、特別支援教室は放課後の特別支援教室として利用。
17		佐久穂未来館	<ul style="list-style-type: none"> ◇若い世代の育成。 ◇町民が気軽に集まれる開放空間。 	<ul style="list-style-type: none"> ○若い世代向けに教育文化の複合施設として使用。 ○町民が気軽に立ち寄れ、若者とも交流できるスペースを確保する。 <p>●町の中央に位置する…駅にも近く交通の利便性も良い。若い世代向けに教育文化施設として使用。</p> <p>●例えば、これからの世界に通用する人材の育成を佐久穂町から出来ないだろうか。LCAインターナショナルの校長さんとお会いしてお話を伺ってまいりました。たくさんのノウハウをお持ちです。</p>
18		さくほ中央 Kids クラブ(世代間交流型の学童クラブ)	<ul style="list-style-type: none"> ◇学校では困難な子供向けコンテンツの提供、世代間交流、年長者・年少者助け合いによる人格形成。 ◇親が安心して働ける子育て環境の整備。 ◇併せて学習塾等のスマールビジネスの誘致を狙う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○施設管理は町。全体運営はPTAが担当。無料コンテンツとして、町の同好会やボランティアの運営・責任による農業、地学、動植物、英語、パソコン、音楽、スポーツ、遊び等の個別クラブを設置(賃貸料免除)。有料コンテンツとして補習、語学、音楽、スポーツ等の学習ビジネスを誘致(賃貸)。 <p>●一部の教室は、公民館に登録する同好会の「部室」として低額貸与し、施設への住民の頻繁な出入りを確保することで「見守り機能」の発揮を期待。</p>

19	4【保健】保育、学童保育、校外の学び	子育て支援事業	◇安心して第2子、第3子を育てられる環境をつくり、人口増を図る。	○微熱、セキなど軽い症状でも保育園等休ませなければならない時に預けられる施設をつくる。急に仕事を休めない時には保護者は助かる。
20	7【教育】文化財	文化財・鉱物資源等展示館	◇文化財・鉱物資源・生活民具等の展示館。	○町内の公共施設内に散在している文化財の中には貴重なものがあるが、保存・展示等整理されていない。 ○町の中心地であり、文化財を集中して保存できる場所である。
21	7【保健】高齢者、障がい者福祉	老人ホーム		○認知症患者が300～400万人と言われるなか、将来必要になる。
22	他【都市】公営住宅、宅地	分譲住宅		○必要なない建物は取り壊し、グラウンドを含め住宅に。 ○交通の利便性も良く、周辺も住宅地である。

■ 佐久西小学校

No	事業カテゴリー	名称	狙い／目的	○事業内容／骨子 ●発展的／付加的要素
23	2【産業】事業誘致、起業支援	民間企業誘致	◇IT企業などの誘致をし、職場を確保する。	○予想外の水害の心配が無い所。 ○千曲通信工業の跡地も計画地として加えられる可能性がある。 ○佐久町IC(仮称)に隣接するなど、立地条件としての有利性は他の学校跡地と比較し、最も優れていると思われる。
24		通信学校等への貸し出し利用	◇通信高校・大学等の施設利用。	○地球環境高校は小海町(北牧小)と協議有りとの噂。

25	2【産業】事業誘致、起業支援	原発被災移住者用就業施設 (農林水畜産物ジビエ食品加工工場)	◇原発被災者の移住に伴う職場提供。 (農林水畜産物ジビエ食品加工工場)	○原発被災者の移住に伴う職場提供の一環として地場産品の農・林・水・畜・ジビエを生産・加工・販売までを一括で行い、地域ブランド食品として広く販売していきたい。又、別にアンテナショップを国道沿いの新設店舗で展開し、店舗販売はもとよりインターネット販売及び流通基地としても展開したい。
26		野菜工場		○太陽光発電のLEDによる野菜作り。 ○学校給食に転用を。 ○農業大学とタイアップして国の補助金を受ける。
27		南佐久キッチン団地(農産物加工部屋の集合施設)	◇南佐久の食材を使った加工食品製造のスマールビジネスの創出。小規模農家、農産物に関する女性グループ、県内外からのIUターン者等による利用や起業促進を狙う。	○建物を活用し、多数の加工空間(20~30室)を設置、町内外から利用者を募る。施設全体の所有、改修、管理、運営は町が担当。利用者は町と数カ月~数年の賃貸契約を結び、製造に必要な追加的施工や設備の投資、保健所の許可取得等は契約者が負担し行う。 ●農産物の直売、食品小売・卸売りの設置。 ●飲食店の設置。 ●ジビエ肉の処理施設の設置。 ●イベント開催。 ●各種マーケティングサポートの提供によるテナントのビジネス支援。
28	3【産業】観光、アウトドア、情報発信	情報発信基地	◇観光・物産・道の駅などの総合案内を兼ねた施設。	○佐久町IC(仮)より直近のために観光・宿泊施設や商工業にはとても良い所となる。 ○高速 IC はいずれその地域の玄関口になるでしょう。そこに西小があることは当町にとっては千載一遇のチャンス…この機を逃さず「情報の発信基地」としての活用を提案します。

29	3【産業】観光、アウトドア、情報発信	佐久穂ミュージアム	<p>◇巷には物資が溢れ、エンゲル係数が死語となってしまった現在、町が生き残れる産業を模索しています。</p> <p>◇急速に展開している情報化社会に対応できる体制を構築。</p> <p>◇諸々の施策のなかに、情報の発信が重要であり、急務と考えます。</p>	<p>○分散している文化財を集約、研究資料として活用、順次展示(常設)。</p> <p>○有数の鉱床地帯、岩石等の展示(常設)、研究資料として活用。</p> <p>○観光情報提供、景観ポスター・チラシ等担当、近隣自治体との協力。</p> <p>○情報発信(広報:IT活用)にコワーキングスペースを用意。</p> <p>○地元、近隣地域の方の工芸作品、絵画等の常設ギャラリー。</p> <p>○観光客をはじめ、町民や子供達の憩いの場を兼ねたエリアを用意。</p> <p>○地元産品、食材の販売(地元商工会、農業団体等の協力依頼)。</p> <p>○大型観光バスの駐車スペースを確保。</p> <p>●町の(総合)情報発信基地として活用…ブランド化への第一歩。 —年中無休、運営・広報、学芸員、ガイド等常駐のレベルで。 —事業の収入は観光資源。</p> <p>●文化財は保存しているだけではその価値は半減してしまう。常時展示、閲覧できることで次代を担う若者たちの郷土の歴史に理解を深める事が出来、ひいては人口減少歯止めの一助にもなるでしょう。観光資源としても重要な財産として活用できる。</p> <p>●有り余るほどの自然環境に恵まれていますが、せっかくおいでになられた方々に年間を通してとなると地域的に限られてしまう。四季折々の風景や土地柄を紹介できるスペースがあれば誘客に効果抜群であるし、町民においても新しい発見が期待できる。</p> <p>●従来の「美術館」に市民参加型の常設ギャラリーとフリースペースを併設した新しい感覚の憩いの場的なエリア…低迷する美術館対策の切り札として金沢の21世紀美術館が参考になる。</p> <p>●これらの事業にはいずれも「情報の発信」が大きな役割を持つ。幸い先人の努力でインフラは充分整っているのでITによる広報を活用しやすい環境にある。</p>
30	4【教育】生涯学習、スポーツ文化活動	体育館の社会体育施設利用	<p>◇社会体育としての活用。</p>	<p>○体育館が新しいので、社会体育としての活用が良いと思われる。</p>

31	4【保健】保育、学童保育、校外の学び	児童養護施設		<ul style="list-style-type: none"> ○虚弱児、障がい児等が泊りから学校教育までできる児童養護施設。 ○現在も西小、佐久中、八千穂小等に通学している児童等に。 ○千曲病院にも近い。
32	5【保健】保健、予防、医療	老人ホーム、障がい者スポーツリハビリ施設	◇健康の町をアピール。	<ul style="list-style-type: none"> ○高地にあり、見晴らしも良く、千曲病院も近いことで安全安心できる場所。 ○大型スポーツ(リハビリ)ジムで、健康の町をアピールしては。 ○老後が安心できるこの佐久穂町に期待。 ○雇用の促進。 ○中部横断道路アクセスも良く他県からも注目される場所。 ○西小学校を改築して。又、近くに千曲通信の工場跡地も有るので活用して。
33		プールを利用した多目的施設		<ul style="list-style-type: none"> ○高齢者や病人のリハビリ機能を持ったプール。 ○ウォータースライダーなどの施設を追加し、近隣住民を誘客。 ○インストラクター等の雇用も。
34	6【都市】役場(町の拠点)	佐久穂町新庁舎	◇災害対策の拠点。	<ul style="list-style-type: none"> ○近い将来、庁舎統合が考えられるため、新庁舎統合は避けて通れない課題である。解体費不要で交通の利便性が良い。北杜市が廃校利用している。 ○庁舎は災害対策の指導及び情報伝達・救護・消火活動等災害対策の拠点であり、最も安全が確保される場所に建設すべき。 ○佐久庁舎は建築後39年、八千穂庁舎は建築後49年を経過しており耐震強度はいずれも指標以下である。震度5以上の地震で倒壊または崩壊する危険度が高い。東日本大震災を教訓に。 ○総合防災センターと兼ねて設置。 ○予想外の大雨に水害の無い所。 ○中部横断道佐久町インターチェンジ直近と便利。
35		総合防災センター		<ul style="list-style-type: none"> ○役場庁舎と兼ねて設置。

■ 八千穂小学校

No	事業カテゴリー	名称	狙い／目的	○事業内容／骨子 ●発展的／付加的要素
36	2【産業】事業誘致、起業支援	シカ肉加工施設		○年間 1,000 頭も獲れるシカ肉を冷凍庫を設け動物園にエサとして出荷する。
37		民間企業誘致		○更地へ。当面は企業誘致。 ○R299、R141、中部横断道路のアクセス、交通の便も良く通勤・流通に適している。 ○雇用の促進。
38	3【産業】観光、アウトドア、情報発信	バイク博物館、町文化財保存展示		○小中一体で利用。メインをバイクの博物館とし、スペースが広いので、町の文化財等も保存展示し利用。 ○県内ではバイク博物館はあまり無い。小諸市、個人で200台以上所有、一部商店街で展示が有るのでは。あと中軽井沢に有ったような、昔見学したような。
39		町文化財保存展示		○高速の終点、川上佐久線の路線等を考慮し、一ヶ所でも多く観光客が立ち寄れる処として計画し、駅前等の美術館、酒の資料館等の施設に少しでも多くの観光客に足を運んでもらえる様にする。 ○川上佐久線により無くなるしらかば社会体育館の駐車場も兼ねる。 ○入館料等を土牛美術館等などとセットの割引入館料などとし、相乗効果を計る。
40	適合なし	借地返還		○建物はすべて取り壊し、返還する。 ○借地については出来るだけ地主へ返還していく。

41	他【都市】公営住宅、宅地	居住区	◇宅地分譲。	○校舎を取り壊して民間に。安全で住みよい団地化。 ○水害の心配はあるが、今以上の心配が無いよう工事で対応する。 ○人口増加が期待できる。 ○中部横断道の残土で埋め土。
42		原発被災者限定移住用宅地開発(無償提供用宅地)	◇原発被災者の方々を僅かでも救済する事を目的とした『結』のプロジェクト。	○同じ日本国民として、三重苦で苦しめられている原発被災者の方々を僅かでも救済することを目的とした『結』のプロジェクトとして、居住地の無償提供を行う事で町ごとの移住は不可能でも区の単位での移住を促進する事により、一日でも早く被災者に安住の地を提供し全国のモデルとなる事業を開拓し、佐久穂町発の具体的、現実的被災者救済解決策とし全国に伝播して行ける事業としたい。

■ 八千穂中学校

No	事業カテゴリー	名称	狙い／目的	○事業内容／骨子 ●発展的／付加的要素
43	2【産業】事業誘致、起業支援	6次産業化のための加工場・直売所		○体育館を利用。 ○耐震強度があり、駐車場もある。道路の利便性が良くなるため。
44		特産品加工施設		○町内の学校調理室の中で最も新しく、設備もそろっているため、共同調理場を特産品の加工施設としてはどうか。
45		民間企業誘致		○更地へ。当面は企業誘致。 ○R299、R141、中部横断道路のアクセス、交通の便も良く通勤・流通に適している。 ○雇用の促進。

46	2【産業】事業誘致、起業支援	道の駅「佐久穂」開設及び 産業振興会館開設、スポーツ施設賃貸	<p>◇道の駅を設置し、観光案内所を開設し利便性を高めると共に、産業振興会館では、農産物加工所、加工食品製造場所の賃貸、製造並びに販売を促進し、産業振興と観光促進を推進する。</p> <p>◇また、しらかば体育館、小中学校運動場の賃貸利用を行い、学生・社会人の合宿利用を推進。</p>	<p>○施設所有は町、又は町の第3セクター(産業振興公社)が担い、道の駅及び加工場を直営とする。</p> <p>○加工食品製造所、宅急便集配所は利用者との賃貸契約とし、レストラン(喫茶コーナー含む)、宿泊施設は委託管理者の運営とする。</p> <p>○体育館を利用して、農産物直売場、お土産品売店、そば打ち体験教室等を開設。</p> <p>○南校舎1Fは、レストラン、喫茶コーナー、厨房、2Fは加工食品製造用賃貸施設、3Fは会議室、貸オフィス等の利用を検討。</p> <p>○加工食品製造所、食堂棟は農産物加工所に利用。</p> <p>○給食棟(昇降口)は観光案内所、宅急便集配所等の利用を検討。</p> <p>○八千穂小学校跡地と併せて、駐車場の他、グランドやテニスコート整備し、学生・社会人への賃貸を検討。</p> <p>○北校舎は、しらかば体育館や運動場の賃貸に併せ、学生や社会人の合宿用宿泊施設を検討。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●道の駅、農産物加工所は佐久川上線開通に併せて開設準備。 ●土牛美術館、酒の資料館とも連携。 ●本施設内に町内外商工産業者の展示場を開設する。 ●R299、中部横断道の接続を待って、間伐材利用の日帰り入浴施設・宿泊施設増強も検討する。 ●グランド、体育施設は、八千穂小学校施設の利用も加味する。 ●グランド、テニスコート、しらかば体育館は、賃貸の無い時は町民利用とする。
47	4【教育】生涯学習、スポーツ文化活動	しらかば体育館の駐車場		<p>○県道川上佐久線が、しらかば体育館の駐車場を横断するので、中学校グラウンドを駐車場として部分使用。</p>

48	4【教育】生涯学習、スポーツ文化活動	白樺ボールパーク (ソフトボールが中心のスポーツ、アウトドア、医療等の複合施設)	◇住民生活の「楽しさと健康」の増大。併せてスポーツ、アウトドア活動、スポーツ医療、予防医療等に関するビジネスの集積を狙う。	○公式ソフトボール球場を設置、白樺体育館と一体的に町が管理、運営。プール、体育館等を活用しスポーツクラブを誘致(賃貸)。建物を活用しスポーツインストラクターやトレーナー、また病院と連携した理学療法士等のスマールビジネスを誘致(賃貸)。 ●ソフトボール大会、公式競技の誘致。 ●スポーツツーリズムとして県外のチームの誘客。 ●予防医学やスポーツ医療等の学会やイベントの誘致。 ●スポーツ・アウトドア用品ブランドのアウトレットやアンテナショップの誘致。
49	4【保健】保育、学童保育、校外の学び	学童クラブ		○八千穂地区にも1箇所必要。
50	7【都市】公園、広場、防災	憩いの森公園	◇八千穂駅～奥村土牛記念美術館との連携を重視した環境整備。	○森林・植物公園、体育施設、競技場、駐車場、いこいの広場等。 ●中央道まで延伸するまで、当分の間は高速道路終点の途として、また、R299～八千穂高原入口として重要な位置を占める。 ●既存施設はやむをえないにしても、新規事業については、万一災害にあっても人的被害や重大な損失が発生しない範囲での利用に限定した方が良い。
51	8【都市】交流、コミュニティ	多世代交流施設		○高齢者・女性・青少年など、多世代の人が集まり交流できる施設。
52	他【都市】公営住宅、宅地	居住区		○安全で住みよい団地化。 ○水害に対する方策が必要。 ○人口増加が期待できる。

53	他【都市】公営住宅、宅地	原発被災者限定移住用宅地開発(無償提供用宅地)	<p>◇原発被災者の方々を僅かでも救済する事を目的とした『結』のプロジェクト。</p>	<p>○同じ日本国民として、三重苦で苦しめている原発被災者の方々を僅かでも救済する事を目的とした『結』のプロジェクトとして、居住地の無償提供を行う事で町ごとの移住は不可能でも区の単位での移住を促進する事により、一日でも早く被災者に安住の地を提供し全国のモデルとなる事業を展開し、佐久穂町発の具体的、現実的被災者救済解決策とし全国に伝播して行ける事業としたい。</p>
----	--------------	-------------------------	---	---